



医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所 (二日町)
在宅療養支援有床診療所(浦佐)

七元ぎ

関カツミ さん書

通所リハビリセンター浦佐

ビニール籠作り見学会(4月30日午後)

講師は元気アップ教室をご利用の水沢忠衛さん。水沢さんから籠作りを習い、その楽しさに夢中になっている上村菊江さんにもお越し頂き、利用者さんや職員が実際に籠作りを体験しました。



ライブアウトランチ 6月4日(土)

人気イベント「ライブアウトランチ」開催。今回のお店は「Little北海道」と「魚沼釜蔵本店」!!利用者、職員と一緒に美味しくいただきました。

新潟いのちの物語をつむぐ会

- 第八回例会・生と死を考える(黒岩卓夫会長) 2
- おかげさまで30周年(前編) 3
- 新潟いのちの物語をつむぐ会
- 第八回例会のご案内 4~5
- 黒岩卓夫一代記 6
- 二日町診療所 日曜日診療休止のお知らせ 7
- うちの利用者さん 8



新潟いのちの物語をつむぐ会 第八回例会・生と死を考える

萌気会 会長・相談役
黒岩 卓夫



7月3日普光寺で「新潟いのちの物語をつむぐ会」（以下「つむぐ会」）の年2回の例会の前期が開催されます。

■つむぐ会の生れと育ち■

つむぐ会は、新潟県で開かれています。淵源は昭和59年12月東京で開催された「医療と宗教を考える会」（代表故日野原重明先生）にあります。この医療と宗教は、いわゆる宗教だけでなく医療以外のジャンルを含めたもので、あらゆる分野の専門家も集まり、広く話し合いがされました。この会を立ち上げたのは、私と斎藤芳雄先生（ゆきぐに大和総合病院副院長）中心のメンバーでした。

■運動のテーマは■

当時の社会状況から、会のテーマは①がん末期の苦悩②臓器移植や出産前診断や遺伝子操作などへの不信や虞れ③長寿社会とはいえ、長い老後の身心の不安と苦しみへどうしたらよいか。医療・医師は何ができるのかでした。

この「医療と宗教と考える会」の活動は全国に波及し、国民の関心を集めました。長岡西病院のビハーラ病棟もこの時期にできました。

■ビハーラの理念■

この「ビハーラケア」の理念的指導者が田宮仁先生（仏教学者*1）で、そのパートナーが今回の浦佐例会の提起者の1人、田宮朋子さんです。

さて、浦佐例会のプログラムは4頁、5頁に掲載されていますが、もう1人の提起者が僧侶榎本宗俊さんです。

「つむぐ会」は、それぞれメンバーが己を語ってみようということで、会を変革しながら続けてきました。榎本さ

さんは学生になるや精神疾患となり、帰省するも家族もなく、孤独のまま、絶望と貧困の生活に耐えてきました。奇しくも幼な子を喪った田宮朋子さんの歌に出会い、両者の交流は深まって今日に至っています。

■シンポジウムは■

提起者の人生のテーマをめぐって、樺沢賢正さん（普光寺住職）、西川薫さん（群馬パース大学精神看護学教授）と私黒岩卓夫の3人。司会進行は上村光男（医療法人社団萌気会事務局長）です。

テーマは「生と死、死の悲しみ、そして葬儀・あの世」です。葬儀も今や大きな変革の時になっています。この世あればあの世はあるのか。本当の看取りとはどうしたらよいか。話し合いたいと思います。

普光寺の住職である若い樺沢さん。自分で宗教者の道を選び「千児観音」から「子ども食堂」「みんなの冷蔵庫」にも積極的に関わっています。私黒岩は最近経験した肉親の葬儀から考えたことなど。参加者の皆さんと共に考えることができると願っています。

そのうえでワークショップもあります。気軽に楽しく話し合ってください。

*1：西洋キリスト教に対して、ホスピスに代えてビハーラとなりました。ビハーラは旅人にとっての休息、人生にとってはひとときの安寧のことです。





おかげさまで30周年

(前編)

萌気会理事長
萌気園浦佐診療所 院長 黒岩 巖志



萌気会は、父黒岩卓夫が浦佐本町に小さな診療所を開設して以来、2022年6月15日で創立30周年を迎えることができました。長きにわたり事業を続けてこられたのは、地域住民の皆様、患者様、介護利用者様、医療・介護・福祉・保育関連の皆様のご理解、ご支援、ご協力のお陰だと思っております。また、過去、そして現在、萌気会および萌気医療・介護サポート社の職員・ボランティアとして汗を流していただいた全ての皆様のお力無くしては30周年を迎えられませんでした。心より感謝申し上げます。

今号では、前編として今までを簡単に振り返ります。

船出

1992年4月、父は、ゆきぐに大和総合病院院長を辞し旧大和町町長選に出馬するも落選。何もすることが無くなり一人ぼっちになっていたところに当時町内で電気・時計店を営んでいた坂西茂男さんが父のもとに現れました。父と坂西さんとはお互い妻が町の保育士ということもあり家族ぐるみの親交がありました。坂西さんから、「多くの住民が黒岩先生にここに残って欲しいと願っている。この町で一緒に開業しましょう。」と提案がありました。後で坂西さんは本音として「私が黒岩先生をこの町から他所へ行かせたくなかった」と語ってくれました。ここから2人の診療所開業計画が始まりました。幸いなことに浦佐本町の元県信だった建物を借りることができました。スタッフは、父、坂西さん、看護師1、事務員1、計4人。器機は、聴診器と血圧計のみ。落選から僅か2か月後の手探りの船出となりました。父がこの魚沼に来て22年目、私は医学部3年生でした。

成長

収益は地域が求める事業の開設に当てられ、医療・介護事業だけではなく保育事業も手掛けています。現在、診療所3（在宅療養支援診療所2、発達障がい児者専門1）、介護事業所13、認定こども園、病児保育棟、別法人として温泉旅館、介護事業所2を運営しています。4人だった職員は現在2法人合わせて約330人まで増えました。

萌気会に次男登場

15年半前の2006年10月、私が北海道小樽市で消化器内科医として病院勤務していた時に父から声がかかり、月1回萌気園二日町診療所の胃カメラと腹部エコーを担当。2012年4月に北海道から当地に移り、2年間新潟県立小出病院内科で勤務したのち2014年4月から萌気会に常勤医として入職。2021年4月、父からのバトンを受け理事長に就任。

20周年以後の沿革

- 2013年：浦佐診療所が9床の有床診療所に（新築移転）、2つ目の通所リハビリ（デイケア）および病児保育棟を新浦佐診療所に併設、2つ目の小規模多機能居宅介護開設
- 2015年：学童保育開設、高齢者サロン開設
- 2016年：介護予防・日常生活支援総合事業開設
- 2018年：訪問看護ステーションからリハビリを分離し訪問リハビリテーション開設、発達障がい児者専門診療所開設、南魚沼市内初の看護小規模多機能居宅介護開設
- 2020年：小規模多機能居宅介護1つ閉鎖、浦佐診療所の9床の病床を1床に減らしサテライト型小規模多機能居宅介護に事業転換

※この10年は、事業拡大だけではなく、人材不足により事業縮小、事業閉鎖にも着手せざるを得ない状況に陥りました。

COVID-19の収束が見通せず、30周年記念式典は10月に職員のみで行うことにいたしました。ページ左上のピンクのロゴは萌気30周年記念委員会委員の諸橋さんが作成してくれました。

次号に後編を掲載いたします。

新潟いのちの物語をつむぐ会 第八回例会

先づ世は 楠なりし 弥勒像 みろくぞう

とほき記憶に 鳥が棲みるむ

星の供花 くげ いつも咲をり かなしみの

絶ゆることなき この地球のうえ テラ

わが産みしを みなごふたり かの世にて

雛遊びの 齢すぎけむ

はらりはら ふるふるひらり ひとひらの

桜散りをり この閻浮提 えんぶだい

作者 田宮 朋子

「看取りを改めて考えよう」

“改めて”とは、今までとは考えが変わった、自分の新しい経験や自分以外からの新しい情報を得たことを大事にして発言しよう。

2022年7月3日(日)

14:00~16:30(13:30開場)

場所:普光寺

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐2495番地甲
上越新幹線・JR上越線【浦佐駅】より
直線約420m、徒歩10分

主催:新潟いのちの物語をつむぐ会
事務局:医療法人社団萌気会

〒949-6772新潟県南魚沼市二日町205-6
TEL:025-781-6155 FAX:025-778-0080

テーマ:生と死、死の悲しみ、そして葬儀・あの世
提起者 榎本 宗俊(僧侶)
田宮 朋子(歌人)

第一部:シンポジウム

座長 上村光男

シンポジスト 樺沢賢正・西川薫・黒岩卓夫

第二部:ワークショップ

参加費:一般:1,000円 会員:500円 学生:無料

お願い:新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催いたします。発熱や咳などの症状がある方は参加をお控えください。ご来場の際は必ずマスクの着用をお願いいたします。

講演者プロフィール



提起者 榎本宗俊(僧侶)
学生、精神病文学放浪、出家と精神的苦痛と貧困を生きて来た。
数年前に田宮朋子氏の短歌と出会い、歌に感動し短歌を詠んでいる。



提起者 田宮朋子(歌人)
寺に生まれ、後にビハーラを提唱することになる田宮仁と結婚。
生まれたばかりの子どもを喪ったことをきっかけにして短歌を作りはじめ、今に至る。

座長 上村光男

8年前、癌で急死に一生を授かり、医療・介護を仕事とし、自らの「いのちを紡ぐ」作業に意欲を燃やし、「こども食堂」「みんなの冷蔵庫」運動を推進している。



シンポジスト 榊澤賢正
浦佐普光寺の住職となり、長岡での仏道をはじめとして、ビハーラ病棟での体験や、「いのちの物語を紡ぐ会」を通して、自ら「こども食堂」「みんなの冷蔵庫」を普光寺に招いた。



シンポジスト 西川薫
看護系大学の教授として精神看護を担当し、精神看護学の実践でも多様な活躍をしている。
令和2年「高屋肖哲千児観音チャリティー美術展」を看護学の視点から指導した。



シンポジスト 黒岩卓夫
「地域医療・在宅医療」を、実践を通して、わが国の第3の医療として確立した。
また35年前、東京で「医療と宗教を考える会」(代表:日野原重明先生)を組織し、全国に波をつくった。
また長岡西病院では「ビハーラ病棟」とも参加し、共に学んできた。



7/3(日) 新潟いのちの物語をつむぐ会第八回例会 ご参加申込書(7/1締切)

氏名	
ご住所	〒 (いただいた個人情報は、今後の本会のご案内以外の目的では使用いたしません。厳重に管理いたします)
ご連絡先	
ご参加人数	一般名・会員名・学生名

FAX: 025-778-0080 医療法人社団萌気会
電話: 070-4350-9909 担当: 上村 までお申込み下さい



やがてごんまのりとした尼寺に到着した

私の運転で
田舎道を進み

なかにはお茶のみの仲間もいるので、心配ないね

先生、今日は多くて7〜8人なりますよ

第20話 往診3
お寺のミニデイ
と往診



先生、お寺さんから電話ありました。明日の往診に急にみてほしい人もきます。膝がはれて痛くなったそうです

わかったよ。膝をみて関節注射もできるから大丈夫だよ



山本さん、この間のお日待ちで御馳走様でした



遅れてしまつてごめんなさいね



ああそうだと膝の痛い方は先にみようかな

皆さん、お元気ですか、まず血圧計りますよ



先生、わたしも2〜3日めえから心臓がドカドカして胸板が難儀なつたんだが待つてました



うん、脈は少し乱れてるね。頻拍になるのかな。薬で様子みて下さい。調子悪かつたら病院へ

ごんま、ちと忙しかつたすけ、そのせえだろつかのそつするせ



いや大したことないよ。痛くないようにするからね

何回やつても痛いのには弱くてね

今日はやつと歩んで来たての

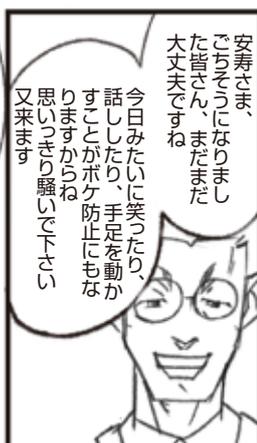


はじめまして、ひざは前にも痛くなつたことはありますか？

あ〜3年ぐれえめえから、歩くとき痛てえことがあつたとも



血圧の薬、少し強くしました



安寿さま、ごちそうになりました。皆さん、まだまだ大丈夫です。今日みたいに笑つたり、話したり、手足を動かすことがホケ防止にもなりますからね。思いっきり騒いで下さい。又来ます。



おらの孫もさんなつからあつたれして、あちこたねえさうかの

先生、今日はばか血圧が高かつたでも、薬変えるかい

お寺さんはもともと街の人たちが気軽に立ち寄り、古くからの街のコミュニケーションの場だった。そこへ往診がまきこまれたのか、往診が呼び寄せたのかはわからない。

⑥ しかし御住職の人間力も大きな力になっていると思う。このお寺の安寿さまはそのような尼さんだった。

萌気園二日町診療所 日曜日診療休止のお知らせ

萌気会理事長 黒岩 巖志

二日町診療所では、看護師および庶務員の不足により**2022年5月より日曜日**、および**12月31日、1月1日、1月2日**の内科の診療を一時休止させていただきます。

上記以外の祝日は診療致します。

地域の皆様には多大なご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

よろしくお祈りします



内科 診療日

時間帯／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝日
午前	○	○	○	○	○	○	×	○
午後	○	○	○	○	○	×	×	×

※日曜日、および12月31日、1月1日、1月2日の営業は休止します。

さくりの郷 チマキ作り

この季節のチマキ作りはどここの事業所でもお約束ですね。さくりの郷でも欠かせない年中行事です。もちろん今年も。

感染対策も欠かせないので、パーティションのあちとこちで…はい、まずは皆さん、マスクしっかり着けてください、あごマスク駄目ですよ…次は両手を広げて…シュッシュしますからね…では、もち米配りまーす!隣の人と二人組になって使ってくださいね…笹はここから…

…なんて説明聞かぬうちにちゃっちゃと始めてしまう方がいるんですよ!そりゃそうですよね、職員は準備するだけで巻けないんですから。何度教えてもらっても覚えられないワタシは、数年前からあきらめてカメラマンに徹しています。そう、この日はご利用者の手品ショーだと思っています。

巻き終わったチマキは50個以上ありました。茹でる時も、心配して見に来てくださる方もありましたので、上々の茹で上がりです。ひとつも壊れませんでしたよ。さあ、きな粉をたっぷり塗してお召し上がりください。最後は、お口の周りのきな粉をしっかりと拭くのもお忘れなく。

萌気園小規模多機能ホーム さくりの郷 小川 優子



曼陀羅華 菖蒲湯・クレープ作り

曼陀羅華では5/5に菖蒲湯、5/25にクレープ作りを行いました。

菖蒲湯では、菖蒲の花に蓬の葉をプラスして曼陀羅華特製菖蒲湯の素を職員が作り、灰かに香る菖蒲と蓬の香りを堪能していただきました。

クレープ作りでは、クリームとイチゴジャムをたっぷり使った曼陀羅華特製クレープを皆さんに提供させていただきました。とっても甘いクレープに「こんなに美味しいのは久々に食べたよ!」と皆様満面の笑顔で召し上がっていました。

萌気園二日町診療所 曼陀羅華 石沢 知美



たもんの郷に、白や紫の艶やかな藤が咲きました。

たもんの郷

6月1日水曜日、たもんの郷は2周年を迎えることができました。利用者さんのおかげで、毎日明るく穏やかに過ごせています。利用者さんに季節の花をご覧いただくこと、職員が折り紙で藤の花を作って飾りました。藤の花を見ていると心が落ち着くなぁと思うのですが、利用者さんにもそう感じていただけたらイイなと思っています。

私たちの先輩である利用者さんから色々とお教わっていきたくと思っています。雨にも負けず風にも負けず一緒に過ごしましょうね。

これからもたもんの郷をよろしくお願いいたします。

小規模多機能居宅介護 たもんの郷 山本 明子

2周年



2周年記念 特別メニュー

うちの利用者さん

萌気園老人ホーム すみれ草

大学卒業後県立高校で社会と英語の教師をしていたそうです。

朝は「Good.Morning!」とさわやかにあいさつをさせていただきます。

油絵が趣味で八海山を描いたり、作品が多数あり個展を開いたこともあるとのことでした。

「仲間といろんな国を旅行したよ。イタリア、フランス、イギリス、ブルガリア、ハンガリー、アメリカ、どこも良かったなあ」と話して下さいました。



大嶋 圭己様 88歳

事業所紹介 ▶ 看護小規模多機能居宅介護コム・ソフィ&ナース

コム=コミュニティ(地域)

ソフィ=フィロソフィ(哲学)

ナース=看護師

【コム・ソフィ&ナースの意味】

フィロソフィ(哲学)という言葉を選んだ理由(医療法人社団萌気会 会長 黒岩 卓夫)

誰でも生きる態度が「哲学」だと思う。ナースの参加によって新しいコミュニティ(コム)を目指したい。利用者それぞれの人生の仕上げの舞台上、老いや死、そして生きていた自分を考える場でありたい。それはスタッフ1人1人にも課せられているテーマだと思う。この拠点は、また高齢者を中心に、地域のケアを要する人、あらゆる立場の人とも共生できる関係でありたい。

そのうえで医療サイドから在宅ケアの主役である看護師が、制度として組み込まれる意味は大きい。お互いに現状や習慣的なこと、いわば世間さまに、これでよいのかと疑問を抱き、社会を変えていく力を哲学と考えたい。哲学を大切に新しいコミュニティの拠点が萌気の家「コム・ソフィ&ナース」である。

コム・ソフィ&ナース職員は「高齢者を中心にする」「老いや死、そして生きていた自分を考える場」という黒岩卓夫会長の言葉を大切にしています。職員一同が日々考え、コム・ソフィ&ナースという場を創っています。

安心コラム ～往診がミニデイにふくらんだ!～

介護保険制度ができる前は、自由な空気の中で“在宅三昧”だった。

このミニデイの御本尊は90歳のリウマチのおばあちゃん。泊まりで世話している女性。近所の私の患者さん3-4人、町会議員そして往診する医師と看護師だ。

すでに皆仲良しになっている。「Eさん(議)毎回参加してどうですか」「ケアの専門家になれるんじゃないですか」「いや先生、おらかあちゃんはどうもね、自分が一人になったらどうするか?」。近所のおばあちゃんがすかさず「Eさん、心配いらね、お前さんが先だって」。一座がワーッと笑い出して盛り上がった。

時にはEさんに、町の議会のことも教えてもらい皆勉強になった。医者は診療したり一言アドバイスを。まさに共生の場ではないだろうか。

Dr. T. Kuroiwa



編集後記

小規模多機能ホーム 「さくりの郷」 小川 優子

あつと言う間に今年も半年が過ぎますね。肌寒い日、暑い日とありますが、暑い日は夏のような日がありますね。こまめな水分補給をしていただきたいと思います。

栄養も摂ってお元気でいていただきたいと思います。栄養

と言えば、子ども食堂やみんなの冷蔵庫にご参加、ご協力もいつもありがとうございます。こちらで更にたくさんの方が栄養を摂っていただけるようになると嬉しいですね。